



尿路結石



どんな病気なの？

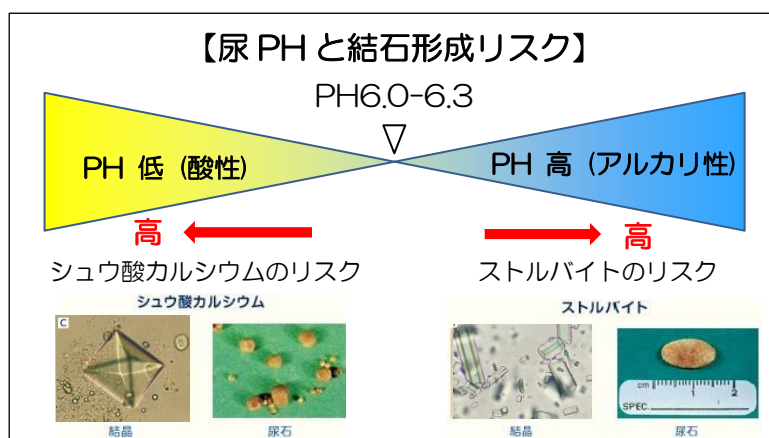
尿路結石(腎臓結石、膀胱結石、尿道結石など)は尿のミネラル分が過度に濃縮され、尿路(腎臓—尿管—膀胱—尿道)で砂状や石状になるもので、尿の排出が妨げられます。放置すると腎不全や尿毒症を引き起こし、死亡することもある怖い病気です。

原因は？

結石の成分は尿中に排泄されるミネラル分などで、ミネラル分の多い食餌の影響や代謝異常などにより濃度が上昇します。

尿の酸性度(PH)の変化や尿が膀胱内に長時間たまるなどの要因が重なると尿中ミネラル分が結晶化し、結石ができます。なお、構成するミネラル分の違いにより結石は数種類に分けられ、治療法も異なります。

膀胱炎など、細菌感染や炎症が起きているとさらに結石ができやすくなります。



写真：SA Medicine

どんな症状になるの？

頻尿、排尿困難(尿をする姿勢をするが尿が出ない)や、血尿がみられます。症状は結石のある部位、大きさ、数により異なります。尿路がつまって排尿できない状態が1~2日続くと、腎不全や尿毒症を起こして死に至ることもあります。



どうやって診断するの？

尿検査、X線検査、超音波検査などで診断します。

どうやって治療するの？

溶けない成分やサイズの大きな結石は外科手術で摘出します。

尿 PH の補正によって溶ける結石の場合は十分に状態をみながら、処方食を使って結石を溶かす処置をすることもあります。

膀胱炎などの感染症がある場合は抗菌薬を使います。

予防できるの？

尿路結石は生涯管理の必要な病気です。 結石形成を防ぐように調製された処方食と十分な水分摂取で再発を予防します。処方食以外のフードやおやつを与えてしまうと、処方食の十分な効果が得られないため注意が必要です。

